

授業科目	北九州の技と文化					実務家教員担当科目	-				
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	林 裕二										
授業概要	北九州には、長年、ものづくりに携わり、優れた技術・技能をもった「匠」「達人」がいて、「企業」があります。タイムパフォーマンス、利便性が追求される現代では、地域で育まれてきた技や伝統文化に出会い、接する機会も少なくなってきました。本講では、達人たちの生き方や仕事に対する向き合い方、企業の歴史、今後の展開や方向性を学び、これからの人生への礎としてほしいと思います。この授業では、北九州の文化圏でその技や文化を継承し、発展させてこられた外部講師の方々の講義のほか、体験を通して、地域に伝承される技やその背景の文化の一端を知り、考えます。ディスカッション、レポート、発表（口頭、プレゼンテーション）、レポート外の提出物、その他の活動で理解を深化させて、提案ができるようになる活動を行います。提案の手順は次です。ポスターを作成します。それを教室に貼り、ポスターセッションを行います。ポスターセッションとは、ポスター作成者が聞いてくれる人たちに発表をすることです。なお、ポスターは全員がオンラインで確認します。それを見て、どの人たちのポスターセッションを聞こうかと決めておくことになります。 ＊外部講師（全5回）と学生の活動報告（1回）の内容・順番が変更になることもあります。外部講師については新年度に人事異動等があることがあり、担当回等の変更がありえます。										
授業形態	対面授業				授業方法	グループワーク ディスカッション					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 地域・社会で活躍することの意義を習得することができる。 2. 伝承されてきた技と背景的な歴史と展開を理解できる。 3. 講義内容を理解し、まとめ、提案を含むプレゼンテーションをすることができる。										
理想的レベル	1. 講義内容の意味を正確に理解し、適切な表現で課題を分かりやすくまとめることができる。 2. 客観的な根拠（エビデンス）に基づいて論理的に主張を述べ、独創的な提案ができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			0								
小テスト			0								
レポート			30%				授業中に提出 6回				
発表（口頭、プレゼンテーション）			25%				ポスターを貼り、発表				
レポート外の提出物			25%				最終レポート				
その他			20%				ポスター写真をオンライン提出				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU10603J WE10603J NT10603J EN10603J TO10603J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	

講義の概要について理解し、復習する。		4
授業計画		
第 1 回	テーマ：オリエンテーション 講義の目的と授業の進め方、達成の目安、評価方法等について解説する。(林)	
第 2 回	テーマ：地域で育まれてきた文化(1) 小倉織とその文化（外部講師、林）	
第 3 回	テーマ：環境モデル都市と文化（外部講師、林）	
第 4 回	テーマ：地域の伝統と食文化（外部講師、林）	
第 5 回	テーマ：1. 地域貢献に活躍する学生の活動報告 2 評価方法等について（林）	
第 6 回	テーマ：より豊かな暮らしの実現へー福祉用具の歴史とこれからー（外部講師、林） ＊ポスターセッション用紙配布	
第 7 回	テーマ：地域で育まれてきた文化（2） 地域の食文化ー「ぬかだき」を知る（外部講師、林）	
第 8 回	テーマ：プレゼンテーション（ポスターセッション）（林）	
テキスト	1. テキスト資料を配布（配信）します。 2. プリント等で配布します。	
参考図書・ 教材／データ ベース・ 雑誌等の紹介	朝日新聞クロスサーチ（学内のみ） 新聞・雑誌（図書館） 知へのステップ 第 5 版 ー大学生からのスタディ・スキルズ 学習技術研究会（著）出版社：くろ しお出版；第 5 版（2019） ポスターセッション関連： <a href="https://about.yahoo.co.jp/info/blog/20190410/postersession.html">https://about.yahoo.co.jp/info/blog/20190410/postersession.html</a> <a href="https://vipcamp.org/2016/poster.html">https://vipcamp.org/2016/poster.html</a> <a href="https://www.toyama-c.ac.jp/news/000735.html">https://www.toyama-c.ac.jp/news/000735.html</a>	
課題に対する フィード バックの 方法	レポートについては、個別に、あるいは個人情報を削除して、クラス全体にコメントを含めて、返します。	
学生へのメッセージ・ コメント	1. レポートには自分の主張を支える信頼できる根拠（エビデンス）が必要です。適切な根拠を得るためには、日頃から新聞・雑誌等を読んでおくことが大切です。そして、世の中でどのようなことがおきているかを知っておくことです。図書館の新聞・雑誌を活用しましょう。 2. 新聞にはデジタルと紙があります。紙の新聞には一目でいろいろなことが社会にはあることが分かるというメリットがありますから、紙の新聞を勧めます。 3. 当授業は 8 回です。水曜日 5 限の 1、9～15 回目に行う予定です。成績評価の対象となる提出物は 10 回程度あります。それが特に最後の時期に集中します。この時期に実習等で多忙な人を更に多忙にさせる日程です。	

	4. 3回以上の欠席で単位認定資格を失います。
--	-------------------------

